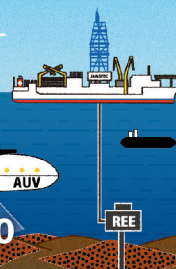




革新的深海資源調査技術

News Letter Vol.14 15 May. 2020



南鳥島周辺海域で採取したレアアース泥から精製したレアアース精製物



レアアース開発の最先端技術を産業界へ発信

SIP「革新的深海資源調査技術」は、国産の深海資源開発を目指した国家プロジェクトであり、広く一般の方々や産業界へその活動を伝えるため、アウトリーチ活動にも力を入れています。

2019年度は、「成果報告会」(2019年11月25日、イイノホール)に加え、以下の3つの展示会へも出展を行い、本プログラムからの情報発信に止まらず、出展企業や来場者と双方向に情報のやり取りができました。

1 「オートモーティブワールド」 (2020.1.15-17 東京ビックサイト)

オートモーティブワールドは、自動車産業に係る部品メーカーを中心に各社の技術を紹介する複合展示会で、毎年の来場者は6万人を超えます。我々は、電動車両の中核技術であるモーター・インバーター、二次電池、充電に関するあらゆる技術が一堂に会する「EV・HEV駆動システム技術展」ブースへ出展しました。

次世代自動車産業の中核を担う電動車両に欠かせないのが、小型で高出力なモーター。そのモーター製造に必要なEV車1台あたりの磁石の量は、一般的なガソリン車の10倍とも言われます。来場者や他の出展者からは、磁石の原料となるネオジウムやジスプロシウム等の安定的な供給について、当プロジェクトへ大きな期待の声が寄せられました。



会場の様子

こちらのQRコードから
アクセスできます

2 「海と産業革新コンベンション(うみコン)」 (2020.1.29 横浜市開港記念会館)

「海と産業革新コンベンション(うみコン)」は、海洋に関する最新の技術や情報を共有・融合し、海洋産業の振興・活性化につなげるため、研究やビジネスに携わる人が産学官の垣根を越えて一堂に会する横浜発のコンベンションです。

海洋分野の企業、大学に加え、海洋研究開発機構、海上・港湾・航空技術研究所等の研究機関が参加しており、パネル展示やシンポジウムのほか、出展者と来場者のビジネスマッチングを重視した会場構成になっていることが特徴です。当プロジェクトもプロジェクトの最新動向とテーマ毎の計画について展示とプレゼンテーションを行い、海洋分野の幅広い来場者と意見交換を行いました。



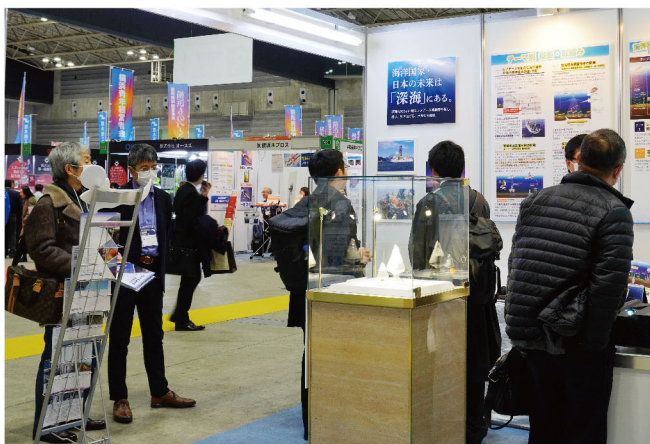
会場の横浜市開港記念会館(重要文化財)



プレゼンテーションの様子

3 「テクニカルショウヨコハマ」 (2020.2.5-7 パシフィコ横浜)

「テクニカルショウヨコハマ」は、神奈川県下で最大級の工業技術見本市で、40回の開催を数える歴史ある展示会です。素材・部品・研究開発・ロボット・AI等のテクノロジーをテーマに、大学や自治体、神奈川県内外の企業が多数出展し、地域やご当地の色を濃く感じるラインナップの中、我々のブースも注目を集め、多くの来場者が足を止めてポスターやレアアース精製物等の展示に見入っていました。



ブースの様子



来場者との交流・解説

SIP「革新的深海資源調査技術」では今後も一般向けの展示などを通じた情報発信を続けてまいります。当機構のホームページにも随時更新しておりますので、併せてご覧ください。